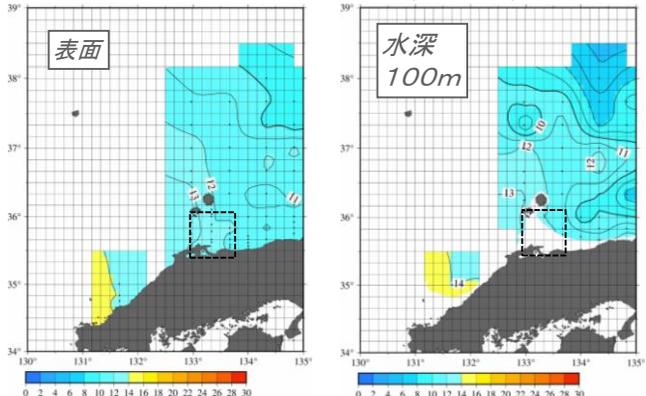
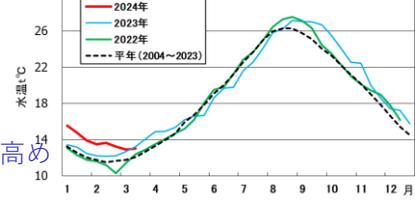


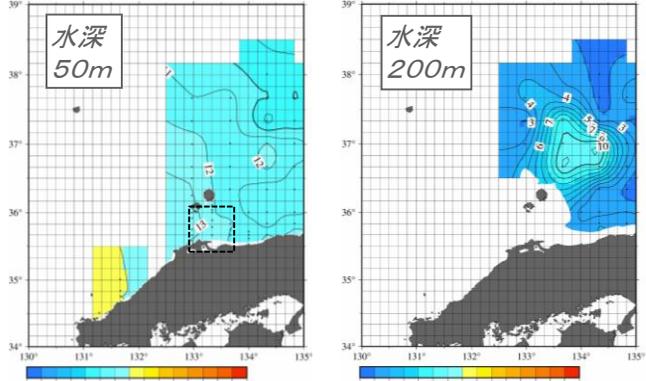


鳥取沿岸の水温
鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)
3月中旬 13.0℃
昨年より 0.9℃高め



表面
暖岐海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の平均水温は12.5℃(10.8～13.6℃)を示しています。【前年差:-0.7℃、平年(直近30年)差:+0.1℃】

水深100m
平均水温は11.2℃(10.2～11.8℃)を示しています。【前年差:-1.3℃、平年(直近30年)差:-0.5℃】



水深50m
平均水温は12.6℃(10.7～13.5℃)を示しています。【前年差:-0.4℃、平年(直近30年)差:+0.2℃】

水深200m
暖岐諸島北東方N36°40'付近に10℃以上を示す暖水塊があります。

水産試験場

令和5年度第2回境港地区漁業況連絡会議

3月14日(木)に境港地区の水産関係者を対象とし、海洋環境と沖合漁業が対象とする魚種の資源・漁獲状況や今後の見通しについて、担当研究を説明する会議を県営境港水産物地方卸売市場にて行いました。概要は以下のとおりです。

- 4月上旬の海況見直し
- 鳥取県沿岸部における表面の水温は14.6℃を示し、前年並みに推移(前年差+0.4℃)
- 鳥根沖冷水は鳥根島沖N36°以北、山陰・若狭沖冷水は、鳥取・兵庫沖N35°40'以北(2012年以来的かなりの接岸傾向)に認められる可能性あり。
- 鳥取県沖合域における対馬暖流の流路は、山陰・若狭沖冷水に沿って接岸傾向で東方へ流れる

魚種	予報期間	コメント
スルメイカ	3月～6月	近年同様低調となり、前年並みか平年を下回る
マイワシ	3月～6月	平年を上回る(資源量は増加傾向。今年は盛漁期が短い可能性あり)
マサバ	4月～6月	前年並み(本年1月以降の盛漁期において、1歳魚相当の水揚げは少ないが、2歳魚は多い)
マアジ	4月～6月	平年を下回る(近年の予報期間中の漁獲主体は1歳魚相当。今年1歳となる魚の水揚げが前年から少ない)
松葉がに	2023年漁期	前年を下回る漁獲量となる見込み(2024年2月末で前年比84%の漁獲量)。特に漁期序盤から西側海域(浜田沖、見島沖)の漁獲が前年より低調に推移
類がに	2023年漁期	前年並み(前年比103%) 資源は回復傾向
若松葉	2023年漁期	前年を下回った(前年比68%)。漁期の2024年2月は時化が多く、狙い獲量が少なく、漁獲が低調になった推察
スワイガニ全体	2023年漁期予測	前年並みの漁獲量となる見込み(2024年2月末で前年比93%の漁獲量)。オスガニの漁獲量が低水準状況が続いているが、調査結果では漁獲サイズ手の小型のカニが増えていく状況を確認。来漁期以降、小型の松葉がに、若松葉がにが漁獲が向上することを期待
ハタハタ	2024年予測	前年を上回るが平年と比較すると低調に推移
アカガレイ	2024年予測	前年並み
ソウハチ	2024年予測	前年並み
ベニズワイ	2024年予測	前年に比べ、加入が減少する可能性が日本海かにかご漁業協会とのかご網共同調査で見られているため、前年から若干減少すると予測

(一社) 漁業情報サービスセンター 水産関係者との意見交換会

上記の会議と併せて(一社) 漁業情報サービスセンター主催の水産関係者との意見交換会も開催され、(国研) 水産研究・教育機構 浮魚第4グループ 向 草世香 主任研究員による「マイワシの資源状況」、(一社) 漁業情報サービスセンター 水産情報部長 渡邊一功氏による「日本周辺のマサバの漁獲状況と海洋環境」についての発表があり、参加者との意見交換も行われました。



令和5年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424

境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

3月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥根沖冷水域	隣県で該海域の観測が出来ず 不明
暖岐諸島北方の冷水域	N37°20'付近に冷水塊(10℃以下)が認められます。
山陰・若狭沖冷水域	鳥取～兵庫県沖N37°10'以北に冷水塊(10℃以下)が認められます。
その他冷水塊	鳥取～兵庫県沖N35°40'付近に冷水塊(10℃以下)が認められます。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい、暖岐諸島北方冷水塊周辺には反時計回りの流れが生じると考えられます。鳥取～兵庫県沿岸域では冷水塊南方をN35°40'付近を東方に向かう流れが生じる可能性があります。

境港水産事務所

さかなクンが境港にやってくる!

「ギョギョッとサカナ★スター」
公開収録参加者募集のおしらせ

NHK Eテレの人気番組『ギョギョッとサカナ★スター』の公開収録が、**境港おさかなパーク**で行われます。今回は鳥取県内の小学4年生から中学3年生を対象に、**さかなクン**とタレントの香音(かのん)さんが特別授業を行います。

番組を主催するNHK鳥取放送局では、公開収録に参加するお子様(2名～5名)とその保護者(最大2名まで)を含むグループを抽選で10組程度募集しています。参加をご希望される方は下記のURLからご応募ください。

さかなクンたちと一緒に、鳥取の海に暮らす魚たちの驚きの生態や海のことを楽しく学びましょう!

実施日: 令和6年5月14日(火)
時間: 開場 午後5時30分、開演 午後6時、終演予定 午後7時15分
場所: 境港おさかなパーク(境港水産物地方卸売市場2号上屋2階)
放映予定: NHK Eテレ 令和6年6月21日(金) 午後7時25分(再放送 6月22日(土) 午前9時30分)

申込: NHK鳥取放送局のホームページ
(<https://www.nhk.or.jp/tottori/lreport/article/002/26/>)
締切: 令和6年4月12日(金) 午後11時59分まで

募集ページにはこちらのQRコードからアクセスできます→

栽培漁業センター

2023年の沿岸主要魚種の水揚げ結果

2023年の沿岸漁業の総漁獲量(金額)は、3,108トン(24.3億円)となり、過去最低だった前年を上回りました。沿岸主要種の水揚げ量を表にまとめました。直近、5ヶ年平均に対して増加したのは、ブリ類、あじ類、イワガキの3魚種でした。それ以外の魚種では軒並み直近5ヶ年平均を下回りました。

特に、ブリ類の増加が大きく、これによって総漁獲量が押し上げられました。鳥取県沿岸に漁場が形成されたこと、単価が比較的安定していたためと考えられます。

鳥取県における沿岸漁業主要魚種の水揚げ量

魚種	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2018-22年平均	直近5ヶ年比
スルメイカ	973	722	901	666	556	556	763	73%
ブリ類	607	478	544	470	312	842	482	175%
サワラ	907	881	388	332	254	215	552	39%
ケンサキイカ	358	167	102	153	105	177	177	100%
あじ類	246	203	224	191	269	255	227	112%
イワガキ	134	135	111	109	129	128	124	103%
とびうお類	131	114	72	65	71	67	90	74%
サザエ	115	122	99	118	122	104	115	90%
かわはぎ類	58	46	63	89	33	34	58	59%
ソデイカ	111	24	37	18	27	22	43	51%
マダイ・たい類	92	116	106	113	103	94	106	89%
ヒラメ	35	35	26	21	18	22	27	81%

*スルメイカは19トンイカ釣りの漁獲量が含まれます。

潮に夢を **共和水産株式会社**

代表取締役 橋津 寛

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530